

調査・研修等計画届出書

令和 5 年 10 月 3 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 三宅 聡

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 5 年 10 月 11 日から 10 月 13 日まで（2泊3日）
調査先・研修名	青森県八戸市 / 第85回全国都市問題会議
会場名（会場所在地）	八戸市公会堂・公会堂文化ホール（八戸市内丸1丁目1-1）
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	・受講動機、目的 今回の『文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展』という議題からいくつかの課題が思い浮かんだ。 ひとつめとして「文化芸術・スポーツ」は実に多くの方が肯定感を抱き、私たちの心身を豊かにしてくれるものである。それらをどのように都市の発展に繋げていくのか、大変興味のあるところである。 二点目として「文化芸術・スポーツ」といっても大変に範囲が広いわけで、そこからどのように「わが市はこれだ」と具体的に絞り込んでいくのか、そのプロセスが知りたい。 三番目として、瀬戸市には千年もの歴史のある「せともの」という文化がある。さらに日本中の注目の的である藤井聡太氏の「将棋」もある。まさにこういった地域の特性や資源をどのように活かしていくのか。 これらの課題に思いを馳せ、瀬戸市の目指すべき今後のまちづくりの方圧向、可能性を先進的な事例を学びながら考察して参りたい。

議長名の依頼	要 ・ 不要	依頼先（名称）
同行者名	長江秀幸議員、池田信子議員	

※行程表を添付してください。

調 査 ・ 研 修 等 報 告 書

令和5年11月 2日

瀬戸市議会議長 様

議員名 三宅 聡

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 5年10月11日から10月13日まで（2泊3日）
調査先・研修名	青森県八戸市 / 第85回全国都市問題会議
会場名（会場所在地）	八戸市公会堂・公会堂文化ホール（八戸市内丸1丁目1-1）
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	・受講動機、目的 今回の『文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展』という議題からいくつかの課題が思い浮かんだ。 ひとつめとして「文化芸術・スポーツ」は実に多くの方が肯定感を抱き、私たちの心身を豊かにしてくれるものである。それらをどのように都市の発展に繋げていくのか、大変興味のあるところである。 二点目として「文化芸術・スポーツ」といっても大変に範囲が広いわけで、そこからどのように「わが市はこれだ」と具体的に絞り込んでいくのか、そのプロセスが知りたい。 三番目として、瀬戸市には千年もの歴史のある「せともの」という文化がある。さらに日本中の注目の的である藤井聡太氏の「将棋」もある。まさにこういった地域の特性や資源をどのように活かしていくのか。 これらの課題に思いを馳せ、瀬戸市の目指すべき今後のまちづくりの方圧向、可能性を先進的な事例を学びながら考察して参りたい。

研修で学んだこと・キーワード等

【キーワード】

「八戸市美術館」

・2011年11月にオープンした文化芸術の街、八戸を象徴する拠点。市民やスタッフ、アーティストが共に学び、創り上げる「アートファーム」がコンセプト。従来の美術品展示が中心の美術館ではなく、人が活動する空間を大きく創ることで、「もの」や「こと」を生み出す新しい美術館を目指している。

実際に入館すると、高校生の文化祭の展示や「奏でる工芸」というタイトルで色々な音やリズムを体感する展示、更に県内の工芸品の展示販売やキッチンカーもあり、美術館の内外では人の輪があつてとても活気のある美術館という印象でした。

「はっち」

・八戸ポータルミュージアム「はっち」は既設建物をリフォームし、2011年2月オープン。事業のコンセプトは地域資源を大切にし、市民と協働して賑わいのある街の創出。はっちの8のミッション、①八戸のやる気をさらに引き出す。②まちの連帯感をつくります。③ほしいものがあるまちにします。④歩きたくなるまちにします。⑤八戸資源を再発見するきっかけをつくります。⑥八戸流の情報発信をします。⑦子どもからお年寄りまで共に育てあう場をつくります。⑧新しい価値と表現を生み出す場を作ります。これら8のミッションに徐々ではあるが賛同者が増していったのが注目すべき点である。

「マチニワ」

・八戸まちなか広場「マチニワ」も既成の建物をリフォーム、はっちと道路を挟んだ迎えにあり、2018年7月にオープン。週末を中心に食やパフォーマンス、トークや音楽など多彩なイベントが開催される。かつて八戸は演劇の街とも呼ばれていたほど演劇が盛んであったとのこと、近年その情熱が再燃されつつあるようです。

「八戸ブックセンター」

・2016年12月、マチニワに隣接するビルの1階にオープンした公営書店。民間書店、図書館、市民活動と連携することで市民への本の普及を目指している。更に飲食店や小売店、ホテルなどにブックサテライトとして本棚を設置してもらい本に出会える機会の創出も目指している。また、クラウドファンディングにより各小学校の図書館の本の増書にも取り組んでいる。

「YSアリーナ八戸」

・2019年に国内で3番目の国際基準を備えた屋内スピードスケートリンク。積雪が少なく良質な氷が張る八戸は「氷都」とも呼ばれており古くからアイススケートが盛んであったとのこと。世界水準の競技環境を整えるため最新鋭の設備を導入し、全日本選手権などの主要大会に活用されている。

「フラット八戸」

・2020年4月、東北フリーブレイズ（プロアイスホッケーチーム）のホームリンクとして誘致、竣工。アジアリーグでは過去の優勝、全日本アイスホッケー選手権大会では2017年、2022年に優勝。

「ヴァンラーレ八戸FC」

・サッカーJ3リーグのヴァンラーレ八戸FCのプライスフーズスタジアムでのホームゲームには多くのファンや家族ずれが来場し、試合やグルメを楽しんでいる。

研修受講後の感想・考察（瀬戸市への反映）

研修を受ける前、私が抱いた一つめの疑問は、「文化芸術・スポーツ」は実に多くの方が肯定感を抱き、私たちの心身を豊かにしてくれるものである。しかし、それらをどのようにそれぞれの都市の発展に繋げていくのか、というものでありました。

この研修を受けて、それはそれは並大抵のことでは成功していくことは出来ないと感じましたし、こういった全国会議では失敗例など、思ったほどの成果が得られないケースが紹介されることは無いが、実際はそういった所が多いという認識は当然持っていた。そのうえで複数のパネラーが言及したのが、「地域の分母としての文化」の価値を見出すことの大切さであった。それらを成すための様々な仕掛けやイベントを分子とするなら、それを受け入れる地域の全ての人たちが分母であり、分母としての文化とは、その地域の人たちの人間性そのものではないかと理解しています。

一口では言えませんが、ここ数年来の個人主義や無関心（関心が無くはないがめんどくさいと思ってる人を含む）、ことなかれ主義などの対岸に行き着くには余程のことがないと行くことができないとは思いますが、そこに価値を見出し大切にしていくことが、成功へのカギとなるなら目指すべきだと思っています。

二点目の疑問は、「文化芸術・スポーツ」といっても大変に範囲が広いわけで、そこからどのように「わが市はこれだ」と具体的に絞り込んでいくのかである。それにはこんなヒントがあった。

例えば、八戸は歴史的に寒くて雪の少ない「氷都」と呼ばれていたことからアイススケートリンク、かつて演劇が盛んでありその下地があったので再燃した演劇、フェンシングのまち沼津は国体のフェンシング会場になったことが切っ掛け、長野県東御市は標高差1500mを活かしワイナリーやオリンピック水泳競技強化セン

ター認定プールの建設など、それぞれに理由があるが、興味深いのは欠点と思われがちなことがらを発想を変えることで活路を見出す場合があるということだ。これは大いに参考になった点である。

三番目の疑問、それは瀬戸市には千年の歴史のある「せともの」という文化がある。さらに日本中の注目の的である藤井聡太氏の「将棋」もある。まさにこういった地域の特性や資源をどのように活かしていったらよいのかである。

今回の研修で学んだ手法や考え方に沿うならば、地域資源、この場合「せともの」であるが、「せともの」への関心や肯定感を高めるための様々なイベントや仕掛けを専門のコーディネーターのもとしっかりとやっていく。

それらの成功の連続が、始めは例えば、路地からスタートしたかも知れませんが、やがて商店街を巻き込み、さらにその成功により輪が広がり、世代や立場を超えて様々な人の大きな共感の輪となっていく。

これが当に、一番目の疑問のところで言及した「分子」であり、それを受け止める大切な分母は損得勘定のない、歴史ある「せともの」の為ならという地域のボランティアな力である。

この私たちの「せともの」の為ならやってやろうという力の結集が成功の鍵であると考えています。

またそれは決して不可能なことではないと信じています。

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.iorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
5 年 10 月 11 日	瀬戸市役所前	名鉄	片道	大曽根	14.8	km	410	円		円
	大曽根	JR	片道	名古屋	9.8	km	12,540	円		円
	名古屋	新幹線	片道	東京	366	km		円	4,920	円
	東京	新幹線	片道	八戸	631.9	km		円	6,800	円
	八戸駅前	バス	片道	廿三日町	5.7	km	320	円		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
	ホテルグローバルビュー八戸				0178-46-3111		11,550 円			
備考欄										

36,540 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
5 年 10 月 12 日	十三日町	バス	片道	市庁前	0.4	km	170	円		円
	市庁前	バス	片道	十六日町	0.4	km	170	円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
	ホテルグローバルビュー八戸				0178-46-3111		11,550 円			
備考欄										

小計 11,890 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離	交通費			
						運賃		特急料金 等	
5 年 10 月 13 日	十三日町	バス	片道	市庁前	0.4 km	170	円		円
	本八戸	JR	片道	八戸	5.5 km	12,870	円	6,800	円
	八戸	新幹線	片道	東京	631.9 km		円	5,120	円
	東京	新幹線	片道	名古屋	366 km		円		円
	名古屋	JR	片道	大曽根	9.8 km		円		円
	大曽根	名鉄	片道	瀬戸市役所前	14.8 km	410	円		円
備考欄									

パック等による割引など

小計 25,370 円

宿泊費 合計

23,100 円

交通費 合計

50,700 円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

73,800 円